

2023年9月

県内企業の景況意識調査

(第186回)

共同調査

大銀経済経営研究所

大分信用金庫

大分県産業創造機構

* 2023年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み

* 2023年 10～12月期〈Ⅳ期〉の見通し

2期連続のプラス水準

今期（2023年7～9月期〈Ⅲ期〉）の業況判断BSIは、前期比1.7ポイント低下の+0.6となった。業種別のBSIは『建設業』『卸・小売業』の2業種で改善し、『製造業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』の4業種で悪化した。

今期の業況判断BSIは前期比でやや悪化した。建設業では公共工事が堅調に推移し、サービス業では旅行需要が高まっており、これらの2業種がプラス水準となり、全体でも2期連続のプラス水準となった。

来期（2023年10～12月期〈Ⅳ期〉）の業況判断BSIは、今期比7.4ポイント上昇の+8.0となる見通し。業種別のBSIは、『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』の4業種で改善、『建設業』は悪化、『金融・不動産業』は今期比不変の見通しである。

来期は、人流の回復によって飲食料品やイベント関連の需要が見込まれることから業況判断BSIは改善する見通し。一方、雇用者数の不足感は高まっており、経営上の課題として人手不足、人材不足、人件費増を挙げる企業が増えている。

* 2023年 7～9月期〈Ⅲ期〉の実績見込み

製造業……………2期ぶりに悪化

卸・小売業……………卸売業は改善、小売業は悪化

建設業……………2期連続で改善

サービス業……………2期連続のプラス水準

2 期連続のプラス水準

◎業況判断

【今期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断 B S I : + 0.6 (前期比▲ 1.7ㇿ)

<内訳>

- ・よくなった 16.6% (前期比▲ 2.8ㇿ)
- ・悪くなった 16.0% (前期比▲ 1.1ㇿ)
- ・変わらない 67.4% (前期比+ 4.0ㇿ)

<業種別>

- ・前期比改善: 2 業種 (『建設業』『卸・小売業』)
- ・前期比悪化: 4 業種 (『製造業』『金融・不動産業』『運輸業』『サービス業』)

今期の業況判断 BSI は前期比でやや悪化したが、建設業では公共工事が堅調に推移し、サービス業では旅行需要が高まっており、これらの2業種がプラス水準となり、全体でも2期連続のプラス水準となった。

来期は、人流の回復によって飲食料品やイベント関連の需要が見込まれることから業況判断 BSI は改善する見通し。一方、雇用者数の不足感が高まっており、経営上の課題として人手不足、人材不足、人件費増を挙げる企業が増えている。

【来期】(2023年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断 B S I : + 8.0 (今期比+ 7.4ㇿ)

<内訳>

- ・よくなる 21.8% (今期比+ 5.2ㇿ)
- ・悪くなる 13.8% (今期比▲ 2.2ㇿ)
- ・変わらない 64.4% (今期比▲ 3.0ㇿ)

<業種別>

- ・今期比改善: 4 業種 (『製造業』『卸・小売業』『運輸業』『サービス業』)
- ・今期比悪化: 1 業種 (『建設業』)
- ・今期比不変: 1 業種 (『金融・不動産業』)

◎売上高と収益

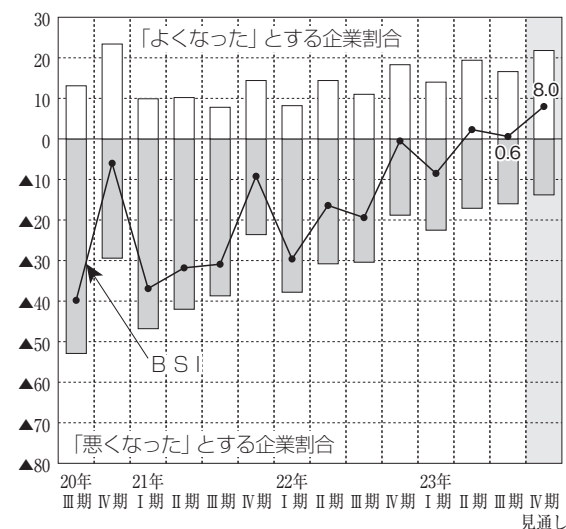
【今期】

売上高 B S I : + 4.0 (前期比▲ 2.3ㇿ)
3 業種で悪化収益 B S I : + 1.7 (前期比+ 8.0ㇿ)
5 業種で改善

【来期】

売上高 B S I : +10.9 (今期比+ 6.9ㇿ)
4 業種で改善見通し収益 B S I : + 2.3 (今期比+ 0.6ㇿ)
4 業種で改善見通し

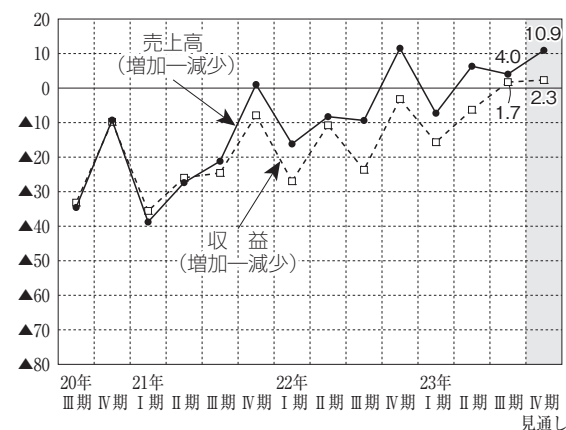
業況判断 (B S I)



業況判断指数内訳 (B S I)

	2023年 Ⅰ期	2023年 Ⅱ期	2023年 Ⅲ期	2023年 Ⅳ期見通し
建 設 業	▲ 8.0	0	8.0	0.0
製 造 業	▲ 7.1	▲ 1.8	▲ 3.7	5.4
卸・小売業	▲15.9	▲16.2	▲14.3	4.8
金融・不動産業	▲25.0	33.3	0.0	0.0
運 輸 業	9.1	25.0	0.0	18.2
サ ー ビ ス 業	▲ 3.0	21.9	18.9	19.5
全 産 業	▲ 8.5	2.3	0.6	8.0

売上高と収益 (B S I)



◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 4.6 (前期比 + 2.9ポイント)
3業種で上昇

雇用者数の現状 B S I : ▲ 42.1 (前期比 + 0.7ポイント)
3業種で上昇

【来期】

所定外労働時間 B S I : ▲ 1.2 (今期比 + 3.4ポイント)

◎経営上の問題点

1位:「原材料仕入価格高騰」(27.3%)

2位:「売上不振」(20.9%)

3位:「人手不足」(15.1%)

4位:「人材不足」(12.8%)

5位:「人件費増」(8.1%)

業種別にみると、「原材料仕入価格高騰」と回答した割合は、『製造業』が32.7%と特に高い。「売上不振」は『金融・不動産業』で50.0%と最も高くなっている。

◎設備投資実施割合

【今期】

実施企業の割合: 38.3% (前期比 + 1.2ポイント)
3業種で増加

<投資目的>

1位:「補修・更新」(66.7%)

2位:「合理化・省力化」(15.2%)

3位:「生産能力の拡大・売上増加」(10.6%)

【来期】

実施予定企業の割合: 40.6% (今期比 + 2.3ポイント)
3業種で増加見通し

<投資目的>

1位:「補修・更新」(67.1%)

2位:「合理化・省力化」(15.7%)

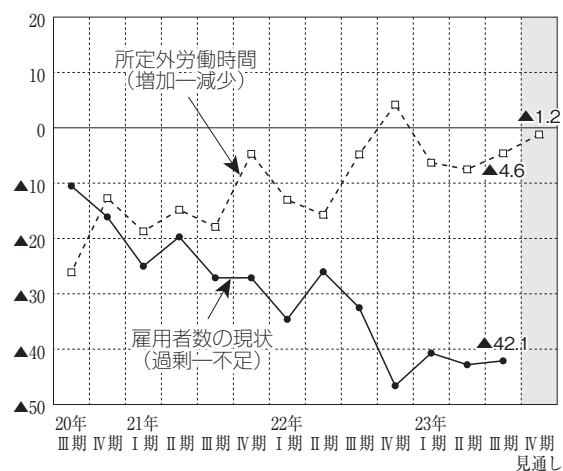
3位:「生産能力の拡大・売上増加」(10.0%)

◎「2021年以降の値上げと今後の値上げ予定」について

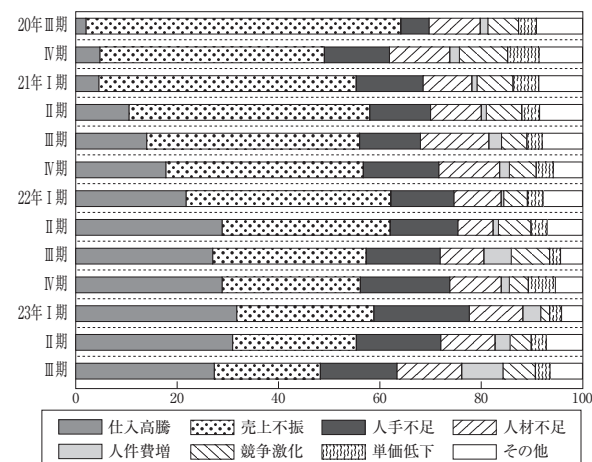
今回の調査において、「2021年以降の値上げと今後の値上げ予定」について尋ねたところ、「既に値上げしており、今後も値上げする」が48.6%、「既に値上げしており、今後は値上げしない」が20.0%、「これまでに値上げしていないが、今後値上げする」が12.0%、「これまでに値上げしておらず、今後も値上げしない」が11.4%となった。

業種別にみると、「既に値上げしており、今後も値上げする」と回答した割合は『卸・小売業』が66.7%と最も高く、次いで『製造業』が54.5%、『建設業』が32.0%となった。

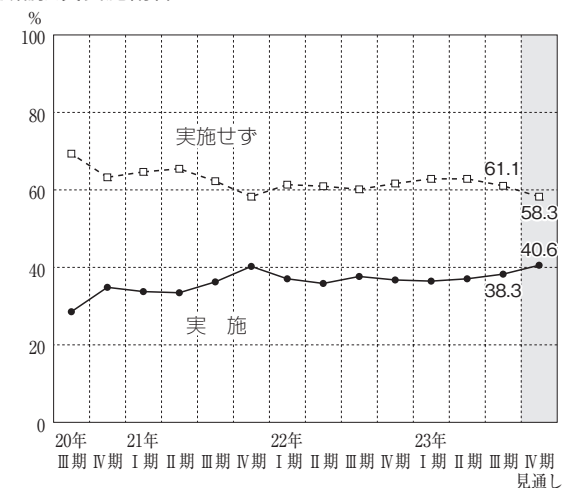
所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



経営上の問題点 (%)



設備投資実施割合



2期ぶりに悪化

◎業況判断

【今期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：▲ 3.7 (前期比▲ 1.9ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなった 12.7% (前期比▲ 3.7ポイント)
- ・悪くなった 16.4% (前期比▲ 1.8ポイント)
- ・変わらない 70.9% (前期比+ 5.4ポイント)

＜業種別＞

- ・前期比改善：1業種(「その他」)
- ・前期比悪化：4業種(「機械」「食料品」「木材・家具」「窯業・土石」)
- ・前期比不変：3業種(「化学・石油」「鉄・非鉄・金属」「印刷・出版」)

一部の業種で、コスト上昇により経営が圧迫され、全体の業況判断は2期ぶりに小幅ながら悪化した。ただし、経営上の課題として仕入高騰を挙げる企業の割合は、低下傾向にある。

【来期】(2023年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：+ 5.4 (今期比+ 9.1ポイント)

＜内訳＞

- ・よくなる 21.8% (今期比+ 9.1ポイント)
- ・悪くなる 16.4% (今期比± 0.0ポイント)
- ・変わらない 61.8% (今期比▲ 9.1ポイント)

＜業種別＞

- ・今期比改善：4業種(「鉄・非鉄・金属」「機械」「木材・家具」「印刷・出版」)
- ・今期比悪化：2業種(「化学・石油」「窯業・土石」)
- ・今期比不変：2業種(「食料品」「その他」)

海外景気の減速などに伴い「化学・石油」が悪化する見込みである一方、半導体等部品不足の解消から「機械」が改善する見通し。来期の業況判断BSIは改善する見通し。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 5.4 (前期比▲ 7.2ポイント)

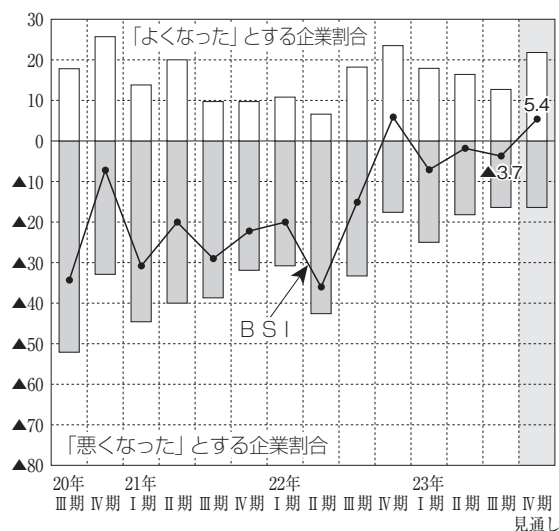
収益BSI：▲ 7.2 (前期比+ 9.2ポイント)

【来期】

売上高BSI：+10.9 (今期比+16.3ポイント)

収益BSI：▲ 1.8 (今期比+ 5.4ポイント)

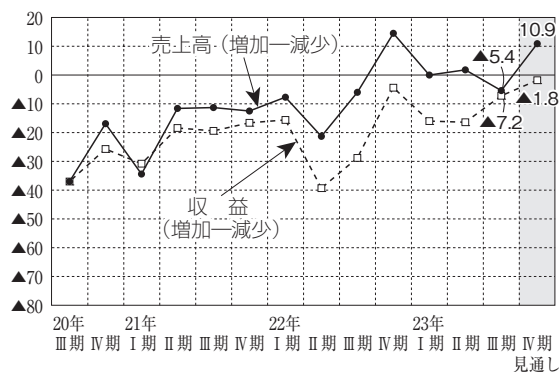
業況判断 (BSI)



業況判断指数内訳 (BSI)

	2023年 Ⅰ期	2023年 Ⅱ期	2023年 Ⅲ期	2023年 Ⅳ期見通し
化学・石油	25.0	▲25.0	▲25.0	▲50.0
鉄・非鉄・金属	▲33.3	▲40.0	▲40.0	▲20.0
機 械	14.3	0.0	▲ 7.2	7.1
食 料 品	0.0	27.3	14.3	14.3
木材・家具	▲28.6	▲16.6	▲20.0	20.0
印刷・出版	▲75.0	▲50.0	▲50.0	0.0
窯業・土石	▲33.3	33.3	0.0	▲50.0
そ の 他	16.7	16.6	42.9	42.9
製 造 業	▲ 7.1	▲ 1.8	▲ 3.7	5.4

売上高と収益 (BSI)



卸・小売業

(42社)

卸売業は改善、小売業は悪化

◎業況判断

【今期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：▲18.8（前期比+ 3.9㊦）

<内訳>

- ・よくなった 12.5%（前期比+ 3.4㊦）
- ・悪くなった 31.3%（前期比▲ 0.5㊦）
- ・変わらない 56.3%（前期比▲ 2.8㊦）

『小売業』

業況判断BSI：▲11.6（前期比▲ 2.0㊦）

<内訳>

- ・よくなった 11.5%（前期比▲ 7.5㊦）
- ・悪くなった 23.1%（前期比▲ 5.5㊦）
- ・変わらない 65.4%（前期比+13.0㊦）

卸売業では売上高BSI、収益BSIがともに改善し、業況判断BSIも改善した。小売業の業況判断BSIは小幅に悪化した。売上高BSI、収益BSIはいずれも改善した。

【来期】(2023年10～12月期〈Ⅳ期〉)

『卸売業』

業況判断BSI：+ 6.3（今期比+25.1㊦）

『小売業』

業況判断BSI：+ 3.8（今期比+15.4㊦）

業況判断BSIは卸売業、小売業ともに大きく改善する見通し。小売業では売上高BSI、収益BSIがともに大きく改善する見込み。

◎卸売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：± 0.0（前期比+ 4.6㊦）

収益BSI：+ 6.2（前期比+15.3㊦）

【来期】

売上高BSI：± 0.0（今期比± 0.0㊦）

収益BSI：▲ 6.2（今期比▲12.4㊦）

◎小売業：売上高と収益

【今期】

売上高BSI：± 0.0（前期比▲ 4.8㊦）

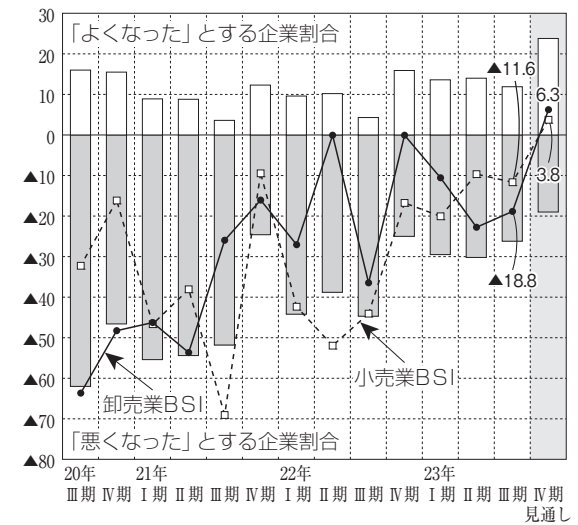
収益BSI：▲ 7.7（前期比+ 1.8㊦）

【来期】

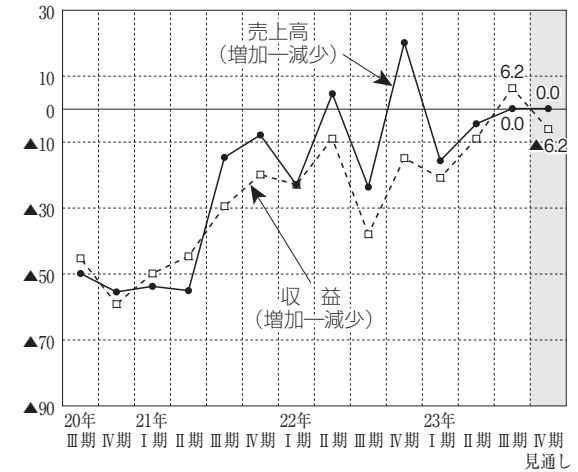
売上高BSI：+19.3（今期比+19.3㊦）

収益BSI：+ 7.7（今期比+15.4㊦）

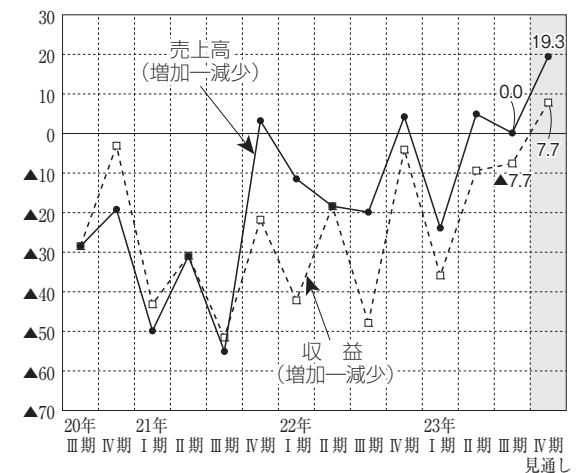
業況判断（BSI）



〔卸売業〕 売上高と収益（BSI）



〔小売業〕 売上高と収益（BSI）



2 期連続で改善

◎業況判断

【今期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：+ 8.0 (前期比+ 8.0㊦)

<内訳>

- ・よくなった 16.0% (前期比+ 8.3㊦)
- ・悪くなった 8.0% (前期比+ 0.3㊦)
- ・変わらない 76.0% (前期比▲ 8.6㊦)

公共工事が堅調に推移しており、業況判断BSIは2期連続で改善した。経営上の課題としては、仕入高騰を挙げる割合が低下した一方、人手不足を挙げる割合が上昇した。

【来期】(2023年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：± 0.0 (今期比▲ 8.0㊦)

<内訳>

- ・よくなる 12.0% (今期比▲ 4.0㊦)
- ・悪くなる 12.0% (今期比+ 4.0㊦)
- ・変わらない 76.0% (今期比± 0.0㊦)

来期の業況判断BSIは悪化する見通しである。一部の事業者から工事の受注減少を危惧する声が聞かれた。

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：▲ 4.0 (前期比+ 3.7㊦)

収益BSI：+ 4.0 (前期比+19.4㊦)

【来期】

売上高BSI：▲24.0 (今期比▲20.0㊦)

収益BSI：▲28.0 (今期比▲32.0㊦)

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

所定外労働時間BSI：± 0.0 (前期比+24.0㊦)

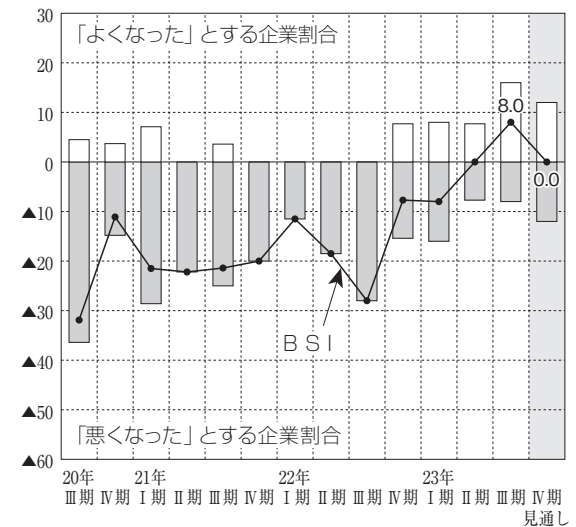
雇用者数の現状BSI：▲75.0 (前期比▲ 3.0㊦)

【来期】

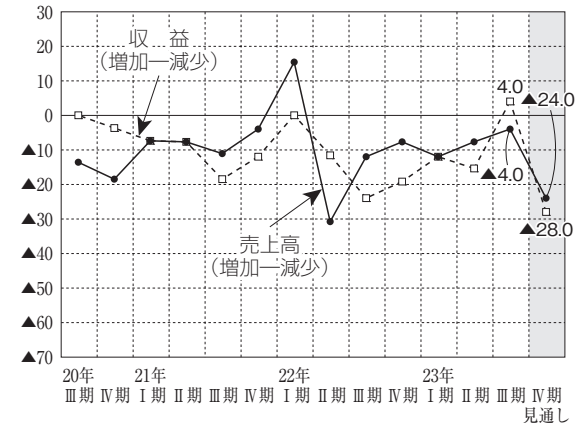
所定外労働時間BSI：▲ 8.3 (今期比▲ 8.3㊦)

雇用者数の現状BSIは悪化し、前期に続き大幅なマイナス水準であり、事業者の人手不足感が高まっている。

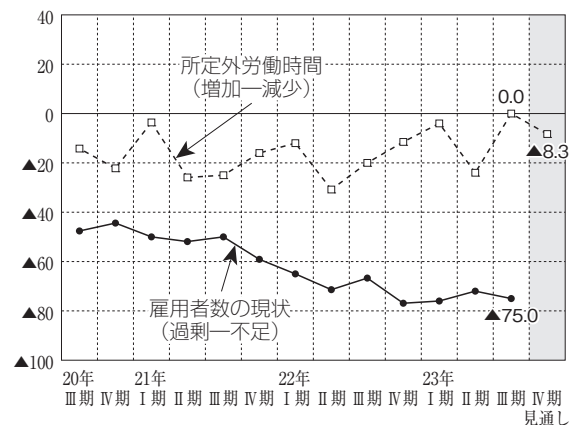
業況判断 (B S I)



売上高と収益 (B S I)



所定外労働時間と雇用者数の現状 (B S I)



サービス業

(37社)

2期連続のプラス水準

◎業況判断

【今期】(2023年7～9月期〈Ⅲ期〉)

業況判断BSI：+18.9（前期比▲3.0ポイント）

<内訳>

- ・よくなった 27.0%（前期比▲7.4ポイント）
- ・悪くなった 8.1%（前期比▲4.4ポイント）
- ・変わらない 64.9%（前期比+11.8ポイント）

感染症の5類移行により大幅に改善した前回調査から業況は大きく変わっておらず、全体では2期連続のプラス水準となった。

サービス業のうち観光関連の18社では、「よくなった」と回答した企業は前期比14.4ポイント減の44.4%、「悪くなった」と回答した企業はなかった。

観光関連以外の19社では、「よくなった」と回答した企業は10.5%、「悪くなった」と回答した企業は15.8%だった。

【来期】(2023年10～12月期〈Ⅳ期〉)

業況判断BSI：+19.5（今期比+0.6ポイント）

<内訳>

- ・よくなる 27.8%（今期比+0.8ポイント）
- ・悪くなる 8.3%（今期比+0.2ポイント）
- ・変わらない 63.9%（今期比▲1.0ポイント）

◎売上高と収益

【今期】

売上高BSI：+21.6（前期比▲0.2ポイント）

収益BSI：+16.2（前期比+3.7ポイント）

【来期】

売上高BSI：+27.0（今期比+5.4ポイント）

収益BSI：+24.3（今期比+8.1ポイント）

◎所定外労働時間と雇用者数の現状

【今期】

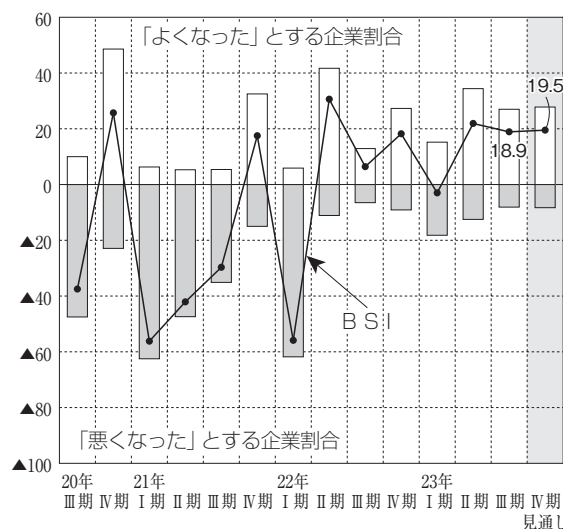
所定外労働時間BSI：+10.8（前期比▲4.8ポイント）

雇用者数の現状BSI：▲61.1（前期比+1.4ポイント）

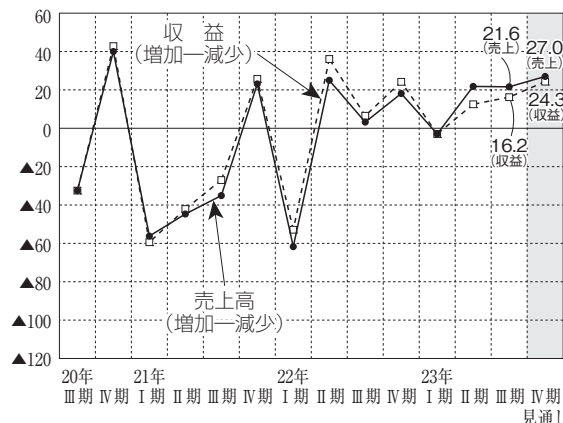
【来期】

所定外労働時間BSI：+10.8（今期比±0.0ポイント）

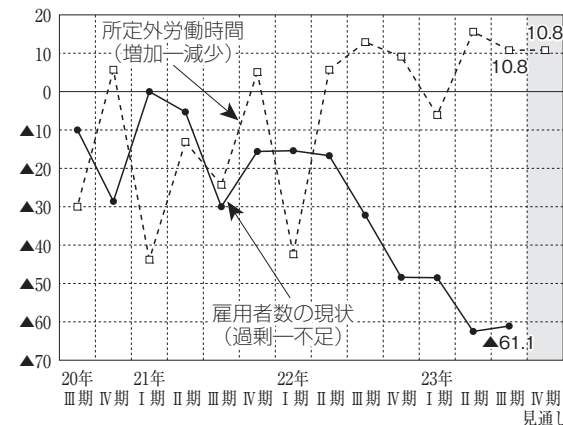
業況判断（BSI）



売上高と収益（BSI）



所定外労働時間と雇用者数の現状（BSI）



BSIとは

BSIとは“Business Survey Index”の略

企業経営者の業況に関する判断や景気見通しを“よくなる・よくなった”、“変わらない”、“悪くなる・悪くなった”という3つの形式で回答を求め、これを数値であらわしたものである。

BSIは次の数式で求められる。

①〔よくなる〕+〔変わらない〕+〔悪くなる〕=100%とする

②〔変わらない〕の回答分を除く

③ $BSI = \frac{〔よくなる〕 - 〔悪くなる〕}{〔よくなる〕 + 〔悪くなる〕} \times 100$

BSIが前期を上回れば景気は改善、前期を下回れば悪化という見方をする。

調査の概要

当調査は、大銀経済経営研究所、大分信用金庫、大分県産業創造機構の三者合同によるアンケート調査である。

◎調査時点 2023年8月20日

◎調査の内容

- ・自社の景況の実績と見通し
- ・売上高と収益の実績と見通し
- ・設備投資実施割合
- ・経営上の問題点など

◎調査対象

- ・県内に本社または出先事業所を有する企業422社

◎回答企業数 175社

- ・回答率 41.5%

・規模別割合

資本金1千万円未満・個人	7.4%
資本金1千万円～1億円未満	63.4%
資本金1億円以上	14.3%
無回答	14.9%